

1. 件名:川内原子力発電所運転期間延長認可申請(1、2号炉の運転の期間の延長)及び保安規定変更認可申請(1、2号炉の高経年化技術評価等)に関する事業者ヒアリング

2. 日時:令和5年5月17日(水) 15時00分~15時40分

3. 場所:原子力規制庁 8階北会議室(※一部TV会議システムによる出席)

4. 出席者:

原子力規制庁

原子力規制部審査グループ

実用炉審査部門

雨夜上席安全審査官、藤川安全審査官、日高安全審査専門職※、鈴木技術参与

長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門

小嶋上席技術研究調査官、田口主任技術研究調査官、水田技術研究調査官、河野技術参与

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力経年対策グループ長 他14名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料:

- ・資料-1 川内原子力発電所1、2号炉 運転期間延長認可申請に係るヒアリング コメント反映整理表<その他>

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	原子力規制庁フジカワです。それでは仙台編集保全所運転延長に係るヒアリングを開始します。九州電力さんの資料に基づいて説明の方をお願いいたします。
0:00:15	未収電力ナカハラです。
0:00:18	本日はコメント反映整理表のその他
0:00:21	オクさん。
0:00:25	ご説明をさせていただきたいと。
0:00:28	資料については、
0:00:30	表明させ
0:00:34	と思いますが、
0:00:36	御説明の方は、一つ一つ
0:00:40	を読み上げた方がよろしいでしょうか。
0:00:48	もう一度説明だけしてください。
0:00:50	はい。一つずつ説明の方お願いします。
0:00:55	かしこまりました。
0:01:01	はい。すいません九州電力の阿部と申します。
0:01:05	それでは、まず、その他事象はその他のコメント反映整理表ナンバーを、
0:01:12	コメントについての回答をさせていただきます。
0:01:16	回答資料。
0:01:18	サカイ12号炉その他を、
0:01:21	資料をご覧いただきたいと思います。
0:01:24	こちら、いただいております質問の内容が冷却材出入口管台に給気口付近溶接部、
0:01:31	仕切板の6905基、690合金に対する暴力
0:01:36	これを
0:01:36	図2ポツ2-2のデータをもとにえさ黒三角事象としているが、
0:01:42	原子炉容器のAは、
0:01:45	単体溶接部等は同じデータを用いて施工参画事象としている、評価の違いを説明することのコメントをいただいております。
0:01:53	こちら、回答といたしましては、
0:01:55	SGの出湯、近い場合、
0:01:58	セーフエンド等で使用しております6905付近につきましては、統一された材質が使用されておりました、運転経験及び使用条件からえられた材料の試験データ、こちら、電力共通研究になりますけれども、
0:02:14	こちらとの比較から、今後も経年劣化の進展が

0:02:17	ない、または、し傾向は極めて小さいと考えられ、
0:02:22	逆に、
0:02:23	しまして日常劣化管理事象以外、黒坂部次長として分類をしております。
0:02:29	それに対しまして、RVIについては、入口、
0:02:33	阿呆それぞれ 69 ある。
0:02:35	県公金と、695 基、
0:02:38	こちらそれぞれ両方を使用しております、一つの設備に異なる公金を使用していることから、
0:02:45	全体としまして総合的に保全を考えた観点から、600 系合金の 190 件合金の中央部の両方向管理所の三角事象と、
0:02:57	分類をしたというふうな、違いから、コウノの達成になっております。
0:03:02	その後、その他の事象 5 につきましての説明は以上となります。何かコメント等ございますでしょうか。
0:03:13	規制庁高野です。ありがとうございます。
0:03:20	加圧器のセーフエンド、
0:03:23	のところの、も取りかえて、690 に使われて、
0:03:29	勝木の評価書の方は、白三角という評価をされておるところがあるんですが、要は、690 は白三角になるんじゃないでしょうかという質問です。
0:03:44	で、かつSGもうずっと検査を担保としてやってるわけですね
0:03:52	維持規格に基づいて、
0:03:54	したがって検査を実施しているという観点からすると、熱、日常劣化管理辞書に当たるのではないかと。
0:04:02	いうふうに考えておるんですが、いかがでしょうか。
0:04:16	少々お待ちください。
0:05:14	九州電力からアベです。ご指摘の通り
0:05:20	につきましては白蛋白辞書としてしまして、SDに
0:05:24	保全等を行っているという実績が確認、
0:05:30	ご指摘の、
0:05:31	内容を反映いたしまして、指導三角の事象と、
0:05:35	改めて、
0:05:37	したいと思います。以上。
0:05:41	はい。規制庁河野です。
0:05:45	内容せ、了解しました。
0:05:57	はい。
0:06:02	規制庁比嘉です。都築氏、説明の続きの方お願いします。

0:06:10	九州の西田です。
0:06:13	してNo.の他のなった7についてご説明させていただければと思います。こちらでいただいた名称なんですけれども
0:06:23	発令マニュアルに基づき、
0:06:25	フジイによる肉厚測定を実施している箇所とその結果を説明すること。
0:06:30	最大限
0:06:32	朝礼にい今後の対応を説明することと。
0:06:35	いただいております。
0:06:39	説明させていただきます。
0:06:44	としてですね、二次系配管肉厚 8 指針というものを支社で定めております。その次、
0:06:52	地震、
0:06:54	下に実施しております、
0:06:56	その指針に基づいてですね、
0:06:59	ての点検計画を定めて、
0:07:02	そして、
0:07:02	確認不足、自主、
0:07:06	なってます。
0:07:07	いやもう、
0:07:09	建築率ですね、一番高かったところなんですけれども、
0:07:13	仙台 1 号の第 20 号保全サイクルで事業者、
0:07:18	電気事業者検査、
0:07:22	達成いただきます。
0:07:23	浅野。
0:07:25	吉良してる。
0:07:26	最初は、
0:07:27	当然なんですけれども、主給水配管を初めとして、
0:07:33	サーバでもですね最大の減肉率が確認された箇所はこの表で記載しておりますが、主蒸気は本当だと言って、
0:07:43	張り付かはい。
0:07:46	なっております。
0:07:48	ただ 40 名の方は、現在、原発で 15.7 人。
0:07:54	はい。
0:07:57	会社の作業なんですけれども、
0:08:00	浅野線、低角
0:08:03	肉厚
0:08:04	を実施し、量を算出しており、算出します。

0:08:11	に応じて、点検時期の設定だ、取りかえ、補修等を実施するということになってございます。
0:08:19	そうですねこちら、
0:08:20	記載しております。主蒸気版の余寿命が 15.7 年。
0:08:26	いうことを、でありますので、
0:08:29	事業が保全となる時期までに次回、測定時期を設定し点検を実施することと。
0:08:35	してございます。
0:08:37	ちなみに珠海の測定機器が、
0:08:40	第 35
0:08:42	条は検査、
0:08:43	でございます。
0:08:45	説明は以上になります。
0:08:53	周東コウノです。すいません一つ確認させてください。ノウシュウ蒸気配管が、減肉率が一番高いですよというご説明をいただきました。
0:09:06	余寿命が 15.7 年ということなんですが、余寿命的に、これより短い系統ってあるんでしょうか。
0:09:20	九州電力の西田です。
0:09:23	岡です。15.7 よりも理事会系統はございます。
0:09:28	自交機でいいます給水系統でこの 15.7 年よりも短い。
0:09:33	カワハラしております。
0:09:36	はい、ありがとうございます。それで余寿命が 5 年となる時期までにと いう、
0:09:43	表現はそちらにも、すべての配管にこれ当てはまる。という理解でよろしい でしょうか。
0:09:53	そのご認識の通りでございます。それは二次系配管管理指針の方に定め られてるということでしょうか。
0:10:04	はい。九州電力の西田です。この指針の方に定めてございます。
0:10:10	規制庁金です。了解いたしました。
0:10:14	いいですか、確認させていただいて、すみません規制庁田内と申します けど、ちょっと確認さしてください。主蒸気配管って書かれてますけど、 どの系統ですか。要はABCあると思うんですけど。
0:10:26	すべてが 15.7 っていうわけではないと思うんですが、
0:10:32	九州電力の西田です。
0:10:34	おっしゃる通りすべてがその配管じゃないということですので、少々お待ち いただけますでしょうか。
0:10:58	違う。

0:12:02	九州電力の西田です。すみません傾向の方までちょっと今調べておりますので、
0:12:07	させていただいて、
0:12:11	はいどうぞよろしいでしょうか。はい、どうぞ。
0:12:15	ありがとうございます。
0:12:30	九州電力からですね次のご回答の方させていただいてもよろしいでしょうか。
0:12:35	はい。お願いします。
0:12:44	ご説明させていただきます。
0:12:47	債務者について、
0:12:50	今回の福祉確認により、保険税消費していると記載されているが、現に傾向。
0:12:57	運営することというコメントをいただいております。
0:13:00	回答といたしましては、
0:13:02	高圧タービンの外部写真は、部分的に機能に影響を及ぼさない流れ加速型腐食による原因が発生しております。
0:13:10	当該射出につきましては、3定検ごとに分解系
0:13:15	で目視確認
0:13:17	正式の点検においては、前回点検結果と比較して集計していないことを確認しております。
0:13:24	今後の3定検ごとの分解経験により、県民の状況を確認していくことで、この健全性は維持できているというふうに考えております。
0:13:34	ご質問等あればお願いします
0:13:52	規制庁藤川です。はい。説明、了解しましたので、ここについては、コメント、追加のコメントはありません。
0:14:03	ありがとうございます。
0:14:07	続きましてNo.11のほうでご説明させていただきたいと思います。
0:14:13	こちらコメント反映資料のほうでご説明させていただいております。いただいたコメントとしまして、伝熱管の開放点検時の渦流探傷、
0:14:24	漏えい試験等を実施していると記載されているが、検査試験の使い分けを説明することとのご質問をいただいております。
0:14:31	つきまして、回答としましては、記載しておりますが、今回の劣化状況評価書におきましては、原則として、定期事業者検査、新検査、
0:14:45	として実施されているもの、及び各種非破壊検査、AppMTEDをこちらにつきましては検査という。
0:14:54	保障が読み方をしております、各種作業要領書や規定等に基づき実施しているもの。
0:15:00	他は水や空気での加圧及び薬液等の得により、これを

0:15:06	確認するもの、こちらにつきましては試験というふうに整理をして記載を行っております。
0:15:13	としましては以上となります。ご質問等よろしくお願いいたします。
0:15:24	規制庁高野です。すいません。ちょっと文言的な話になるんですが、ECTまたは漏えい試験が弱く、渦流探傷検査、
0:15:35	または漏えい試験、
0:15:39	IVということで、いよいよまたはということでどちらかやってるというふうに、
0:15:46	ここの文章から読め、読めるんですが、本来は、これ両方やる話ではないんでしょうか。
0:15:59	もうここ2試験検査の使い分けとは書いてか、質問では書いてるんですけど、
0:16:07	これはだから、何て言うの。
0:16:14	また、またはなのか。
0:16:16	及びなのか、ちょっとその辺がよくわかんなかったもので、
0:16:21	ちょっと質問させてもらいました。
0:16:30	すいません少々お待ちください。
0:16:38	全く、どちらかですよ。
0:16:41	から、アベです。
0:16:43	こちらにつきましては現実か。
0:16:48	加入対象または漏えい試験検討という言い方をし、
0:16:51	記載をしておりますが、
0:16:54	機器等によりまして、渦流探傷検査をしているものがあったり、また別の機器では漏えい検査をしているというようなそれぞれ両方やっているというわけではなく、
0:17:07	どちらかをしているものをまとめて説明させていただいておりますため、いずれかやっているというところで、またはというような表現にさせていただいております。
0:17:18	以上です。
0:17:32	はい。規制庁河野です。
0:17:35	規制庁河野です。ご説明の方は、理解いたしました。
0:17:40	はい。
0:17:44	何か
0:17:46	人によってとり方が変わってくるような書き方でない方法がもしできるならば、
0:17:54	うまく書いておいた方がよろしいかなという感じを受けました。以上ここは今のコメントになります。はい。

0:18:12	九州大学からアベです。複数の検査を行っているものと、た一つの検査を行っているものとか、まざっている状況から、ちょっとそこを綺麗にすべてを書き分けるというのは困難かと。
0:18:25	思いますので、ちょっと表現につきましては、今のままとさせていただきたいなというふうに考えております。コメントにつきましては
0:18:36	いただいたものとして、
0:18:38	認識いたします。
0:18:46	はい。規制庁高野です。
0:18:48	趣旨は力、理解いたしましたはい。
0:18:58	特に追加で、ご質問等なければ次の報告に移らせていただきたいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。
0:19:06	はい。お願いいたします。
0:19:11	続きましてその対象、その他の 13 番と 19 番をあわせてご説明させていただきます。
0:19:20	こちら、
0:19:23	ヒアリングの中で、12 番として、コメントをいただいた内容を、を合わせて回答させていただいて、
0:19:31	あります内容になります。内容としましてはまず、その他の 1919 番、
0:19:37	の方が、3 注入タンクに関しまして、溶接時の入熱による印加可能性がないことを含めて、民間の可能性がないエビデンスを提示することというご指摘をいただいております。
0:19:50	これにあわせまして、その他の 13 番
0:19:53	こちらホウ酸フィルターになるんですけども、同様にどういった等、耐圧構成品の内面からの応力腐食割れに対して、溶接後熱処理を施していないことを理由としているが、その妥当性を説明することというご指摘をいただいております。
0:20:09	これは二つにつきましては、回答が
0:20:13	同じ内容に、
0:20:15	ついでに回答となりますため、一つの回答とあわせてさせていただいております。
0:20:21	内容に関しましては、ホウ酸注入タンク及びホウ酸フィルターの方に使用されておりますオーステナイト系ステンレス本、こちらは、500 度から 150 度、
0:20:31	脳範囲に長時間保持されると認可をするおそれがされておまして、その中でも比較的鋭敏化しやすい総量である 0.07%の+304。
0:20:44	こちら、使用箇所としましてはホウ酸注入タンクの温度計ルールになりますが、
0:20:49	こちらの材質であれば、700 の付近で約 3 分間保持された場合にピーカの可能性があると、いうふうな事件がられております。



0:20:59	こちらの説明としましては(11)として、イシタニ永妻等を示しております。
0:21:07	こちらの図の中で佐々さん 04 の酸素量、前年 7%、
0:21:12	範囲というのがおよそ 3 分間、
0:21:15	以上放置された場合に民間の可能性があるというふうになっております。
0:21:21	これに対しまして、
0:21:23	溶接では入熱による母材の熱影響の範囲といいますのは、限定的なものでありまして、溶接線によって溶接棒を移動させながら、溶接を行うことから、直接的な、
0:21:36	溶接時に母材が鋭敏可能温度範囲にさらされる時間というのは、
0:21:40	大体数十秒程度と短く、長時間一定の温度に保持されるものではございません。具体的に、ホウ酸注入タンク及びホウ酸フィルタの施工要領及び各部の寸法から、
0:21:53	Web化が懸念される温度域を通過する時間というのを計算した結果、こちら 30 秒程度と概算されております。
0:22:01	これらを踏まえまして
0:22:04	溶接遵法
0:22:05	入熱による鋭敏化というものは発生しないというふうに考えております。
0:22:10	説明としましては以上です。
0:22:17	すいません。規制庁河野です。説明ありがとうございます。エビデンスというデータも見せていただきました。ただ
0:22:27	カードのBWRの初期の、
0:22:31	304 のSCC、
0:22:34	ガー、たくさん発生しておったという事実があるんですが、
0:22:40	そ、もうそれも配管だったわけなんですけれど、
0:22:45	これとは違うということになるのでしょうか。
0:23:28	て対応できると。
0:23:31	一方、
0:23:34	イノウエSCCの件は、
0:23:37	おそらくBWRの環境、
0:23:40	よりも、依田さんそう大きくてビーカーに対して、
0:23:44	相手方が高いところかなというふうに思ってます。ちょっと我々のBWRですねSCCの、
0:23:54	内容、
0:23:55	詳細まではちょっとできてないので、
0:23:59	すいません。
0:24:24	はい。規制庁河野です。溶接による鋭敏化となりますと、今回のものでも、PWRのこの 3、

0:24:36	フィルターのところの溶接だろうが、BWRの配管であろうが、溶接という行為からすれば、同じ鋭敏カーが、
0:24:49	発生するというふうに理解せざるをえないのかなと。ただ、今おっしゃられた通り、水質が違うというのが、一つの
0:25:00	何て言うんすかね。起きない要因なんですということになるならば、今回のこのdたというよりは、その水質的なデータを示して、
0:25:14	いただいた方が理解しやすいかなというふうに感じております。
0:25:47	九州電力からアベです。承知いたしました。ご指摘の内容を理解いたしました。ちょっと現段階でBWRに関する情報が、手元にございませんので、
0:25:59	調べた上でまた改めてご回答させていただきたいと思います。以上です。
0:26:04	はい。規制庁高野です。了解いたしました。
0:26:28	規制庁藤川ですアノスズキの説明をお願いいたします。
0:26:46	はい、九州電力、中畑です。コメントナンバー17番、進めさせていただきます。
0:26:52	対象設定は、20 発電所の場になります。こちらの人は、リートパイプの
0:26:59	色になりますけども、
0:27:05	コバヤシといたしまして、ヒートパス数は同筋力が想定される。
0:27:11	しながら、
0:27:12	折衝してる同材料は核的発生した材料であり、
0:27:16	環境劣化にある
0:27:18	そうします。
0:27:19	小さい。
0:27:20	てますけども、この増材料の体制を説明することっていうので、
0:27:26	変えております。
0:27:28	いたしましては、
0:27:32	て安定的な、
0:27:34	やはり様々
0:27:36	な環境下でも、
0:27:37	ちょっと起こしにくいものとして調べ
0:27:40	これは広目に3番。
0:27:45	また
0:27:47	等が1杯。
0:27:50	会議の関係になりますけども、
0:27:52	あとは耐食性を示さ
0:27:54	な鯖江市、

0:27:55	清さんや、強アルカリ性環境下に、
0:27:59	売れませんので、
0:28:01	可能性は小さいと。
0:28:02	考えております。
0:28:04	なお、耐食性の塗装も実際はしておりまして、耐食性を向上させるものとなります。
0:28:22	規制庁高野です。
0:28:25	すいません、ちょっとまた記載の文言的な話になってしまうかもしれないんですけど、最初に書いてあるヒートパイプは銅合金であり腐食が想定される。
0:28:38	というところに対して、
0:28:42	ご回答の方では腐食を起こしにくいものと知られているというところに、要は最初その評価の段階で、何かちょっと、
0:28:54	腐食が想定されるということまで、こういっているのに対してここでは、次のは回答の中ではしにくいんですという、
0:29:07	しにくいけれど起きるってということなんですかね。
0:29:14	ちょっともとの教科書に記載されているのとのこの回答が合ってるのかなというのをちょっと感じてるところです。
0:29:35	主力なパターンです。
0:29:37	おっしゃられる。
0:29:39	通りかとは思いますが一応腐食自体は想定される。
0:29:43	と考え、
0:29:46	これじゃない。
0:29:48	ちょっと世話してまして。
0:29:49	その発生が申請が小さいというところで、
0:29:54	プレッシャー書かしてもらってる形に、
0:29:59	規制庁コウノです。ヒートパイプの銅合金ワーですのでこちらに書かれてるような、
0:30:08	環境下であり、耐食性塗装が行われているということが、対策されてる内容ですということですね。
0:30:19	はい。実態は理解できましたありがとうございます。
0:30:30	規制庁アマヤ。
0:30:32	規制庁甘いです。
0:30:35	ご質問の内容が土木費なのに、
0:30:38	回答はどうでされているんですが、
0:30:42	例えばこれ東郷金とした場合どうなるのでしょうか。
0:31:02	少々お待ちいただきたいと思います。
0:31:31	最初の3行目ってグーグルでクッタラ写真がちょっと出てくるんですよ。

0:31:37	おっしゃられる通り、もう同等。
0:31:41	もし全くイコールじゃないってところに、
0:31:45	はい。
0:31:46	ワークショップに関すること。
0:31:48	ただしましては、順序性だ等々、雑巾足は違いますけども、耐食性あるというところで、ちょっと回答資料のですね、
0:31:58	どうというところの動きにまた聞かれた形で、再度提出させていただきたいと思います。以上になります。
0:32:06	はい労金の説明をしていただければいいです。はい。お願いします。
0:32:24	追加ご質問なければ、次の項目を知らせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。
0:32:29	はい。次の質問の方をお願いします。
0:32:33	質問じゃない。次の。
0:32:39	その他、ナンバー18、こちら、いただいております質問が空調用冷凍機の蒸発器伝熱管は同合金であり腐食が想定される。しかしながら動機は耐食性にすぐれておりと記載しているが、
0:32:53	全面腐食を想定した理由を説明することというご指摘をいただいております。
0:32:59	こちらに関しまして、
0:33:00	としまして、空調用冷凍機能蒸発器伝熱管は労金製でございまして、来年は冷媒道路カーボン、
0:33:08	何にも発揮された純粋に接液しております。
0:33:12	この設備に関しましては原子力発電所の高経年化対策実施基準こちらにおきまして、ラッチされた純水及び冷媒。
0:33:21	今日の同合金製の蒸発器伝熱管は、当該経年劣化事象発生の可能性がない使用条件下にあることという内容を理由としまして技術評価を不要とされております。
0:33:34	蒸発器伝熱管はこちらの使用材料及び使用環境に当たりますので全面腐食の発生は考えがたいと考えておりますが、しかしながら、事実、
0:33:45	環境で、
0:33:46	あることを考慮しまして、経年劣化の可能性の項目として、
0:33:52	評価を行っているという
0:33:54	状況でございまして。こちらに、
0:33:58	つきまして、回答は以上となります。
0:34:01	何かご質問等ありますでしょうか。
0:34:08	つまり、
0:34:10	規制庁前です。
0:34:13	ちょっと質問なんですけど、紙括弧の現職発電所の高年化対策実績、これ学会の研修館のやつだと思っんですけど、それでよろしいでしょうか。

0:34:27	田井です。
0:34:28	ご認識の通りのそちらの基準となります。
0:34:31	ところ例のね、括弧から始まった3行目で、3行目d30名までの文章なんですけども、
0:34:39	大手用として技術評価を不要とされております。その部分までちょっと確認なんですけど、
0:34:46	文書としてこういう記載があるんでしょうか。
0:34:53	九州電力からアベです。こちらの基準の中に置きまして、結果、
0:34:59	BWRの
0:35:08	というものが、附属についております。そちらで、各設備の
0:35:13	部材、
0:35:14	に関しまして劣化事象をどのように考慮するかというものの次、内容がまとめられておりまして、そちらで
0:35:24	については、
0:35:25	条件を満たすものについては経年劣化の事情を考慮する必要がないというふうな整理をしているもののうちのひとつとしまして、使用環境等が当てはまるものは評価不要という扱いになっているものがございます。
0:35:38	こちらに当てはまるものとして、こちらの空調用冷凍機の蒸発器伝熱管、
0:35:44	こちらが
0:35:46	令和委員。
0:35:47	発揮された純粹のA接液等、
0:35:50	環境においては評価不要というふうに、
0:35:53	ているというような状況になりますので、すみませんこちらの文章がそのまま書いてあるというわけではございません。
0:35:59	ですよねだから規制庁甘いのですだから、こここういうことを記載されているので、何だ、不要と、そちらで判断したと。
0:36:12	ということなんですよね。
0:36:16	おっしゃる通りです。それならば、ちょっと誤解を招く表現かなと。
0:36:21	思いますので。要は、
0:36:26	その当初にそう書いてあるなら書いてあるんで、その記載を踏まえて判断したならば判断したって、
0:36:35	そのような書き方をしていただくと、より正確かなと思うんですがいかがでしょうか。
0:36:47	承知ご指摘の内容、理解いたしました。承知いたしました。そのような形で評価、内容記載を踏まえまして、当社として判断したというような
0:36:58	修正させていただきたいと思います。
0:37:00	以上です。

0:37:01	はい。よろしくお願ひしたいと思ひます。
0:37:18	他何か質問等、大丈夫ですかね。
0:37:22	九州電力さんは、今日の回答部分は以上です。
0:37:30	州電力のニシダです先ほど保有させていただいておりました。
0:37:35	肉厚測定の
0:37:37	主蒸気系統のABCどれに当たるかという部分体制の回答なんですけれども、
0:37:42	まず今、手持ちで持っている資料なんかですね主蒸気入口ドレン管という、このぐらいまでしかちょっと
0:37:50	ですね、
0:37:51	緑がイトウ、
0:37:53	湯沢小俣、調べてご回答させて、
0:37:59	そうです。
0:38:00	はい、それで結構です。
0:38:03	すいません。また、調べてから、回答させていただきます。ありがとうございます。こちらのコメントが90からは以上です。すいません。規制庁田口ですけどちょっと今後の参考のためにお聞きしたいんですけれども。
0:38:18	12号機ともうなんですけど、二次側の水質は高pH運転に入っておられますか。
0:38:29	電力、ニシダですね貢献は運転に入っております。
0:38:33	それから酸素の注入は、
0:38:51	少々お待ちください。
0:39:05	九州電力の西田です。すみません質問。
0:39:10	はい。二次系の。
0:39:13	2時間の推薦はいそうです。
0:39:17	そして注入自体はしていないと思ひますが現場の方にも再度確認して回答させていただければと。
0:39:24	はいわかりましたお願ひします。
0:39:37	規制庁フジカワ衛藤。
0:39:40	これ空白のやつはまた後日改めていただけるってことでいいんです。
0:39:45	念のための確認です。
0:39:50	電力の新井田です。そのご認識で結構です。はい、わかりました。
0:39:56	何か、
0:39:57	規制庁が起こらないんですね。
0:40:00	九州さん何かありますか確認することと。
0:40:04	なければ、ヒアリング終了したいと思ひます。

0:40:10	九州電力の西田です。
0:40:12	こちらからは
0:40:15	それでは本日のヒアリング以上で終了したい。
0:40:18	ありがとうございます。